



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 811 人
医師 160 人
コメディカル 651 人
【管理栄養士紹介登録数 45人】
 平成22年3月20日現在

《目次》

「療養支援において大切なコト」

和田 幹子先生……………Page 1

研究会の実施報告……………Page 2

研究会のお知らせ……………Page 3, 4

療養支援において大切なコト

当会評議員 けいゆう病院 和田 幹子

若いときは、熱意だけでひたすら前を向いて走っていた（と思われる）支援も、年を重ねるにつれて「実践を振り返る」という技を身につけてきたように思います。「今回の面接は、患者さんのためになったのか、ならなかったのか」「もっと良い方法、伝え方はなかったのか」「わたしの責任は何か」などがその内容です。時々、何年経っても未熟な自分に落ち込みながら、また、患者さんの言葉や笑顔に励まされながら日々振り返っています。

実践を振り返るきっかけとなったのは、約10年前に大学院で宮本真巳先生に出逢えたことでした。患者さんと話していて感じた異和感を解き明かす「再構成」という方法を学びました。異和感を解き明かすことで、泥臭い実践の中にあるキラリと光るものを探すことができる！と思い、自分と患者さんとの間に何がおこっているか、を掘り起こす作業を始めました。

「再構成」を始めて、目の前にいる患者さんが単に「糖尿病を持つ人」としか考えられなかった自分に気が付きました。つまり、疾患を単にdisease＝生物医学的な病態そのもの、としか受けとめられず、illnessとして、病気を持つ人や家族が、その症状や障害をどのように受け止めているかを考えることができなかつたことに気がついたのです。当時の私の指導は「熱意を持った知識の押しつけ」だったと思います。そして、熱意を持って押しつけていた分、良い結果が得られないとがっかりしてすぐ諦めていました。

「あなたはミニドクターだ！」という批判を受けたこともありましたが、自分では深く傷ついて「どこが？」と思っていたのですが、そこに気が付いて納得しました。

実践を振り返りつつ、療養支援において大切なことは「己を知る」ことなのだ改めて思います。自分を知ったうえで、患者さんと「人と人との信頼関係」を目指して、決してあきらめない支援を行うこと。それに加え、「ユーモア」（熱意だけでは伝わらないことも、

ユーモアを交えることで楽しく伝わるので、技を磨くために「笑い療法士」3級を取得しました！）の笑ッセンスを加えること。それが今の私が考える「療養支援において大切なコト」です。

2010年度は、新薬の登場やHbA1cの標準化、ナース・プラクティショナーの誕生など、トピックスには事欠かない年になりそうですが、療養支援における「振り返り」を大切にしつつ、患者さんとともに成長していきたいと思ひます。



第1回 糖尿病と認知症研究会

平成22年2月20日(土)「国分寺Lホール」にて開催されました。

平成22年2月20日(土)午後4時より国分寺Lホールにて「第1回 糖尿病と認知症研究会」が開催され、135名の方が参加されました。

公立昭和病院 内分泌・代謝内科部長の貴田岡正史先生の総司会のもと、「認知症合併糖尿病患者さんの問題点はどこにあるのだろうか？」をメインテーマに行われました。第一部では「介護関連施設の介護士さんと看護師さんに聞いてみた」と題して、前 財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター 内分泌・代謝内科部長/現 三菱京都病院



糖尿病内科部長 中野澄澄先生より、現場の介護スタッフや看護師が問題としている課題が示されました。また、「認知症診察医と糖尿病診察医の場合・・・」では、東京医科大学



八王子医療センター 医療情報室室長植木彬夫先生より事前アンケートに基づく西東京地区の認知症を合併した糖尿病診療の現状について解説がありました。第二部特別講演では「認知症を合併した糖尿病の治療－アルツハイマー型認知症との関連について－」と題して、神戸大学大学院医学研究科 総合内科学講師 櫻井孝先生より認知症を合併した糖尿病患者さんの疫学から治療について、特に糖尿病とアルツハイマー病との関連につき講演頂き、会場からのご質問にお答えいただきました。

第7回 西東京インスリン治療研究会

平成22年2月10日(土)「ザ・クレストホテル立川」において開催されました。

第7回 西東京インスリン治療研究会は「Basal supported Oral Therapy (BOT)」をテーマに、2月10日(土)、ザ・クレストホテル立川にて開催されました。

例年通り、西東京地域の先生方に一般演題でご講演いただき、その後特別講演として京都府立医科大学 内分泌・糖尿病・代謝内科 教授 中村 直登先生をお招きし「外来でのインスリン導入」という演題でご講演いただきました。

参加者は医師20名、コメディカル44名、計64名のご出席をいただき盛況の中無事閉会いたしました。

次回は「ICT・CSII」をテーマとして2011年同時期に開催予定です。この研究会は西東京地域における糖尿病治療、特にインスリン治療に関する現状での問題点や今後の可能性について様々な観点から検討を行うと共に、医師を中心とした医療関係者の知識と技術の一層の向上を目指しております。次回も多数の医師およびコメディカルの先生のご参加をお待ちしております。

第10回 西東京糖尿病療養指導士認定式が行われます

開催日：平成22年4月8日（木） 19:00～21:00

場所：立川市女性総合センターアイム1階ホール
（JR立川駅南口徒歩5分）



平成22年2月14日に実施された認定試験受験者144名のうち合格者113名が新たに西東京糖尿病療養指導士として認定されます。認定試験に合格された方には、すでにご案内をご送付しております。ご多忙とは存じますが、ぜひ御出席くださいますようお願い致します。



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業 □ その他

◆ 西東京臨床糖尿病研究会総会・第47回例会（※お申し込みは不要です。）

テーマ：「変革する糖尿病の治療」

開催日：平成22年6月5日（土）

総会 15:15～15:45（開場15:00）

例会 16:00～19:30

場所：国分寺Lホール（JR中央線「国分寺駅」下車徒歩0分）

参加費：会員無料 非会員：1,000円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：＜2群＞申請予定

*詳細が決定したい会報、ホームページでお知らせします。



◆ 第9回 TAMA生活習慣病フォーラム（※お申し込みが必要です。）

テーマ：「糖尿病と第6の合併症 歯周病」

開催日：平成22年4月10日（土） 17:00～19:30

場所：府中市中央文化センターひばりホール（J京王線府中駅北口下車徒歩5分）

参加費：500円

申込み：同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえFAXでお申し込み下さい。

FAX番号：042-362-1602

ノボノルディスクファーマ(株) 小澤 宛

締切日：平成22年4月2日（金）

定員：100名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：0.5単位





研究会他のお知らせ

直接事業

間接事業

その他

◆ 第3回 南多摩糖尿病教育研究会 (※お申し込みが必要です。)

※この度新しく間接事業として加わりました。

テーマ：「糖尿病と女性」

開催日：平成22年4月7日（水）19：30～21：30

場 所：パルテノン多摩4F第2・3会議室（多摩センター駅下車徒歩5分）

参加費：500円（軽食をご用意いたします。）

申込み：当会HPから申込用紙をダウンロードのうえFAXでお申し込み下さい。

FAX番号：042-362-1602

南多摩糖尿病教育研究会 事務局宛

定 員：48名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位



◆ 多摩糖尿病教育セミナー (※お申し込みが必要です。)

テーマ：「妊娠と糖尿病」

「女性と糖尿病」

開催日：平成22年4月19日（月）19：30～21：00

場 所：パレスホテル立川4F「こぶし東」（立川駅北口下車徒歩3分）

参加費：無料

申込み：同封の申込用紙にご記入のうえFAXでお申し込み下さい。

FAX番号：042-362-1602

ノボノルディスクファーマ(株) 酒本・井上宛

定 員：80名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込締切：平成22年4月12日（月）



事務局からのお知らせ

新年度分 2010年度年会費 の払込票を同封させていただきました。6月末日までに会費の払い込みをお願い申し上げます。当研究会の活動は皆様の会費により成り立っております。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

また、昨年度の会費をまだお納めいただいていない会員の方も若干名いらっしゃいますので該当される方はお早めにご入金ください。（入金状況がご不明な場合は事務局までお問合せください。） また、住所や勤務先に変更がございましたらお早めに事務局までご連絡ください。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエント'サ' 402

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

